

2020年6月

6月4日(虫歯の日)～6月10日は、**歯と口の健康週間**でした。今月は、【**親知らず**】をテーマにお知らせします。

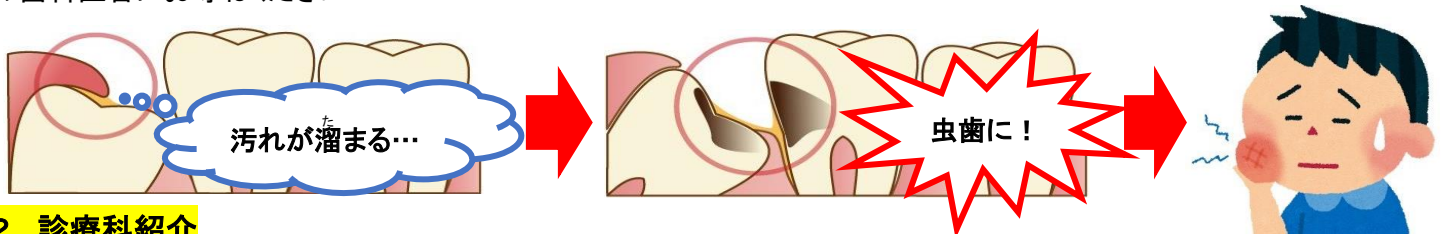
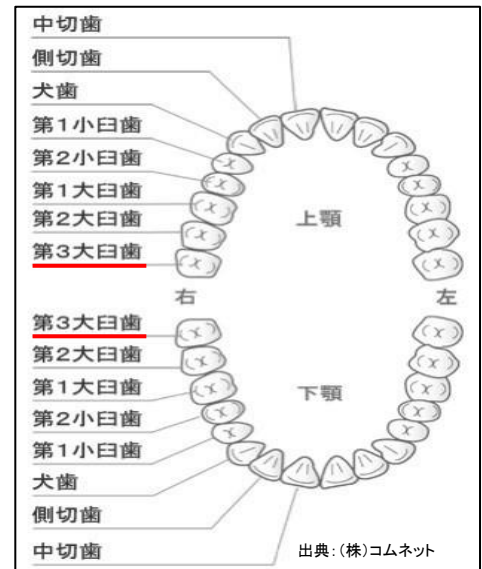
1. 「親知らず」について

親知らずは、顎の一番奥にある歯で、歯を前から後ろに数えていったときに8番目にあります。名前の由来は10代後半から20代頃に生えてくる歯であるため、寿命が50歳くらいだった昔では親が見ることができなかつたためと云われています。他には「第三大臼歯」「智歯」「8番」と呼ばれています。

親知らずが生えてきた時に「痛くなるよ」と言われたり、「抜いたほうが良いよ」と言われたりした経験はないでしょうか？実は、親知らずは必ず痛くなるものでも、抜かなければいけない歯でもありません。

抜くべき親知らずは「**智歯周囲炎の原因歯**」「**虫歯**」「**噛み合わせの障害**」「**嚢胞や腫瘍性病変**」等の場合です。いわゆる「親知らずの痛み」は智歯周囲炎によるもので、親知らずの一部分だけが口の中に出てきたときに、その周囲に汚れがたまることによって歯肉に細菌感染することでおこります。重症化した場合には、顎や頸部にも感染が波及することがあるので注意が必要です。

抜く必要の無い親知らずは、他の歯と同じようにまっすぐ生えてきて、反対の歯と噛んでいる場合です。また、「**歯の移植**」という治療に親知らずが使われることがあります。虫歯などで抜いた歯の場所に自分の歯を植える治療です。親知らずはこのように役目があるので、悪さをしていない場合には、真っ直ぐ生えていない状態でも抜かないほうが良い場合もあります。詳しくは、お近くの歯科医官にお尋ねください！



2. 診療科紹介

親知らずの抜歯は、口腔外科の歯科医師が得意とする手術です。当科には、口腔外科専門医の歯科医官と札幌医大から嘱託の先生がおります。一般歯科以外についても、お気軽にご相談ください。



3. 歯科診療についてお知らせ

現在、**新型コロナウイルス感染症への対策として一部診療を制限しています**。診療の再開につきましては、適宜、自衛隊札幌病院のホームページか、地域医療連携室便りでお知らせします。ご迷惑をおかけして申し訳ありません。ご理解、ご協力のほど、お願い致します。不明な点やご相談等については、下記問い合わせに、ご連絡ください。

問い合わせ 自衛隊札幌病院 医事課 地域医療連携室 011-581-3101(8-17-4273)

作成協力:診療科